

教科（科目）	技術家庭	学年（系）	2年
使用教科書	新しい技術・家庭科（東京書籍）		
副教材等	技術・家庭ノート 技術分野（新学社） 技術・家庭ノート 家庭分野（新学社）		

1 学習目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 指導の重点

自分から家族、家族から地域へと段階的に視野を広げ、自分や家族のために進んでよりよい生活を工夫していくことができる。自分の生活を見つめ直し、生活の自立を目指す技能を育成する。

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	備考
4 ～ 7	生物育成	文化祭作品作成 植物の栽培	生物を育てる目的 植物の育成計画 植物を育てる技術	22	
9 ～ 12	食物	肉・魚を中心とした調理実習	食事の役割 五大栄養素・水・食物繊維の働き 6つの食品群の分類 1日分の献立づくり 調理器具の使い方 調理の仕方と注意点 生鮮食品、加工食品の選び方 食品の保存の仕方、食品添加物 肉、魚を中心とした調理	22	前期期末考査(知識理解) 調理技能、班活動での態度での評価(関心・意欲・態度 / 技能 / 創意工夫)
11 ～ 3	電気	はんだを使用した作品製作(LEDあんどん)	エネルギーの変換と利用 さまざまな発電方法 電気のしくみ 電気を安全に使うための方法 エネルギー変換を利用した作品制作(LEDあんどん)	16	後期期末考査(知識理解) 作品提出(技能 / 創意工夫)

計60時間(48分授業)

4 課題・提出物等

- ・作品の提出があり、提出作品で評価を行います。また、文化祭では展示も実施します。
- ・定期考査で知識理解を確認します。

5 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価基準
生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見いだし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し実践しようとしている。	<評定> 各観点の合計点 達成率 5…80%以上 4…70%以上 3…50%以上 2…40%以上 1…40%未満
以上の観点を踏まえ、以下の項目から、総合的に評価する。 ・授業の参加態度、作品作りの進捗 ・授業ごとの提出物、忘れ物、自己評価 ・作品のデザイン、作る上での工夫、プリントの書き方 ・練習課題も含め作品 ・テストの点数			

6 担当者からの一言

衣食住に関する実践的・体験的な学習活動から、生活に必要な基本的な知識及び技術の習得を目指します。その過程で、家庭の機能について理解を深め、これからの生活をよりよくしようとする力を育成していきます。